



主要ポイント、オトリ店網羅！

# 長良川 入れ掛けアユMAP

郡上漁協  
管内編

西日本有数のアユ名川・長良川。釣り場は長く、流れは変化に富む。特に水量のある場所ではポイントを絞りにくいが、地元名手・白滝治郎さんが釣り場のようす、ねらい方を丁寧に解説！ 今回は、長良川の友釣りメインポイントである郡上八幡を中心に紹介。

白滝治郎 解説 北圃政司 イラスト

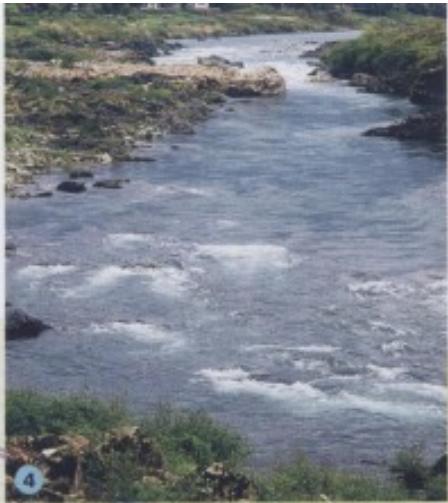


Profile : 白滝治郎

1958年1月4日生まれ。岐阜県郡上市在住。中部鉄影会会長。早春からアユ釣り解禁までは渓流でアマゴ、長良川本流でサツキマスを追い、夏場はアユの友釣りに通う。



# 深戸新田 白石橋下流から



写真の奥に見える荒瀬「ドオクの瀬」は、大アユねらいのファンには絶好の釣り場



「のどかの味ぬみやちか」(旧木尾ヤナ)付近。水深のある瀬への落ち込みがねらいめ

長良川鉄道・みなみ子宝温泉駅は、駅舎が温泉旅館「子宝の湯」(☎0575・79・4126)に直結している。入浴料は大人500円、子ども250円。なお長良川鉄道利用の場合は入湯税50円のみで入れる



勝原橋から下流を望む。  
トロ場は泳がせでねらい、下の瀬は引き釣りで



今シーズンの長良川は天然ソウ上が極めて順調であり、河口で計測されるアユのソウ量は4月末現在すでに昨シーズンを上回っている。本格的にソウ調査が開始された平成8年以降では、過去最高のソウ量を記録している。上流の郡上漁協管内でも4月下旬から多くのソウアユが見られるようになつてきており、好調だった昨年以上の期待が持てる。

アユ名川として知られる長良川の、郡上漁協内の友釣りポイントを解説しよう。

さらに上流は「ドオクの瀬」と呼ばれ、大岩を噛んで流れる激流になっている。大アユねらいの一級ポイントである。

## 天然ソウ上好調の 今夏は期待大!

新吉田橋付近では、橋から下流は長い瀬が続くポイント。増水時はオモリを使った引き釣りで、渴水時はノーマル仕掛けの引き釣り泳がせでねらう。橋上流の瀬は水深があり、押しの強い流れとなつておらず、オバセを大きくとつた泳がせで釣る。



白石橋下流。写真で流れが左にカーブした辺りの、右岸側は好ポイント



郡上市と美濃市の境が、郡上漁協と長良川中央漁協の境

白石橋下流は郡上漁協管内で最下流にあたり、白石橋下流約1kmに長良川中央漁協との境界がある。白石橋下の長トロが絞り込み、右岸に向ってぶつかる岩盤際がねらいめ。終盤には左岸寄りの浅場や、下流の中電堤上にあるマナゴ(小石)底でよいアユが掛かる。「のどかの味ぬみやちか」前では、中州を挟んで右岸側にヤナが設置されるので、左岸側の流れが落ち込んだ瀬が一番のポイントになる。右岸から立ち込んで、10mの長ザオで左岸寄りをねらいたい。



福野農道橋直下のトロが絞り込んで、「鶴瀬」と呼ばれる荒瀬に流れ込む。瀬肩は泳がせで、絞込みはオモリを付けた引き釣りで、瀬落ちから下流の淵は泳がせでねらう。下流の下田橋にかけて、短い瀬とトロが連続する好ポイントが続く。

粥川が長良川に合流する付近から下流にかけて長い瀬が続き、年中釣り人が絶えない。粥川合流点下流に「ふれあい広場」があり、駐車スペースには事欠かない。

三日市鉄橋下流の「ダン」と呼ばれる荒瀬から、淵と瀬が連続する。それぞれの瀬肩と落ち込みがよい。右岸の堤防道路から河川敷まで車で侵入可能。

講和橋下流には「一の瀬」、「二の瀬」、「三の瀬」と長良川随一の激流が続く。5号、時には10号のオモリを使っての豪快な釣りでねらう。イカリ肩の郡上アユが釣れる場所だ。

美並橋の下にある相戸堰堤から下流にかけて瀬が続く。瀬釣り派の釣り人に人気がある。相戸堰堤下は、郡上で一番のサツキマスポイントでもある。

深戸駅前から下流にかけては、長い瀬が続く。渇水時には流れも緩くなるので、水深のある所を泳がせ釣り中心でねらうとよい。下流に大淵があるので、アユの捕獲は早い。

「深戸新田」付近では荒瀬と淵が連続する。梅雨明けからシーズン終盤までのアユポイント。淵はあるので、オバセをしつかり取つて泳がせることが大切。

## 釣り人憧れの地 郡上八幡

大滝ヤナ跡から下流にかけては長い瀬が続き、さらに下流では瀬と瀬が連続する。ヤナ下の瀬は右岸からの引き釣りがおすすめ。

法伝橋下流の「ガングン瀬」が右岸へと流れ、水深のある瀬と瀬が連続する。瀬は大アユの一発ねらいで、数を出すなら渕尻（瀬肩）がよい。「カシの木瀬」ヒラキから下流の瀬もよいポイント。

大稻付近では、「穀見の中州」で左右に分かれた流れが合流し、その荒瀬が長トロへと流れ込む。荒瀬の引き釣りからトロ場の泳がせまで、いろいろな釣りが可能だ。下流の「弁天」、「箱坂瀬」と好ボイントが続く。

郡上漁協前では、「出合の淵」から続く長い瀬が「岩門」を通って「立壁」のトロへ流れ込む。「岩門」から上流の瀬は引き釣りで、「立壁」は泳がせでねらう。年中釣り人で賑わう、長良川のアユ釣り銀座だが、釣果も安定しているエリアだ。

勝更大橋から吉田川出合にかけては、「五町瀬」という早瀬が続く。増水時は引き釣りで、渴水時は泳がせ釣りで、左岸から右岸をねらう。「五町瀬」が流れ込む「出合の淵」は、サモト（渕尻）とヒラキ（渕尻）がねらいめ。



大滝ヤナ跡付近。長い瀬が続く釣り場だ



上流は中州があり、流れが分かれて瀬になっている



法伝橋のすぐ上流も荒い瀬。右岸（写真左側）が主流になっている



大稻付近。川の真ん中で頭を出しているのが「ハカリ岩」

# 「中元ニツ川」

● 水質もアユもいうことなし！  
長良川屈指の好エリア

「道溝」は、「第3回ダイワ鉛マスターズ」全国決勝大会のポイントとして有名。荒瀬が続き、大アユがねらえる。ところどころにある小さなタルミでは、数も釣れる。

「七ツ石」は転々と頭を出す岩盤が目立つポイントで、「七ツ石」の真ん中辺りにある長トロは人気ポイント。一日粘る価値がある。長トロの上下の瀬では、大アユが出る。2007年、私が足繁く通つたポイントである。

「中元三ツ川」は「中元の三本瀬」といわれ、中州によつて流れが3、4本に分かれている。増水時は真ん中の川、平水以下なら左岸の「クズレ」と呼ばれる流れを釣るとよい。すぐ下流の「カラト瀬」も好ポイントだ。



「道溝」付近。荒瀬が続くポイントで、大アユがねらえる



「七ツ石」は、大石が頭を出すポイント。中ほどにあるトロがおすすめ

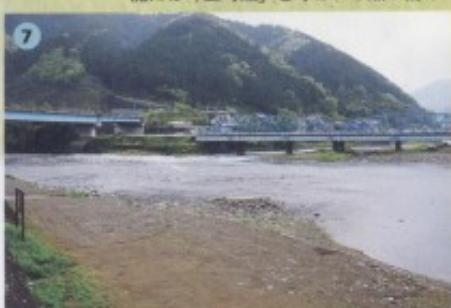


「奥美濃莊」(岐阜県郡上市八幡町五町 263-3 / ☎0575・67・0665)は、釣り人も多く訪れる宿。1泊2食付き 6800円~とリーズナブルながら、料理は美味



「岩門」は、大岩が続く荒々しい川相。釣り人の多い場所

清水釣具店  
越見の中州



吉田川の出合には瀬がある。出合の上流には「五町瀬」と呼ばれる瀬が続く



報徳橋下流。瀬から瀬へと続く流れだ



写真奥で川が分かれている部分が「中元三ツ川」と呼ばれる。その下に「カラト瀬」が続く

## 大会も開かれる 変化に富んだ流れ

中元橋から上流の大淵は、沈んだ岩盤の周りに大石が敷き詰められており、徹底した泳がせ釣りでねらう。じっくり粘ると数がまとまる。ここも、一日粘る価値がある釣り場といえる。

「神路の長トロ」は、左岸寄りにいい石が入っているので、右岸から泳がせ釣ると数が出る。長トロのヒラキ（トロ尻）はアカ残りで、増水後の入れ掛かりが期待できる。「割れ岩」では、淵全体にある沈み岩盤の周りをねらう。

「五輪淵」の一番のポイントは、淵頭、淵尻にある岩



中元橋上流の大淵。白波が立つ  
流れは渾へと続く



金洞橋上流にあるのが「金洞」。岩盤の際や、  
流心にある大石の際を泳がせるとよい。  
渾へ続く落ち込みは荒瀬になっている



和合橋上流の瀬は、淵頭付近に大石が  
入っている好ポイント



杉ヶ瀬ヤナ下流の瀬。左岸寄り  
がねらいめ

# ● 男性的な川相が魅力 中元橋から和田川出合

盤周り。泳がせ釣りで数が出る。淵の上下流の瀬もよい。

高速道路の大利根下からの瀬は、和合橋上流で淵へ流れ込む。この淵の淵頭から少し下流にかけて、大石が入っている。和合橋から下流は平坦な川相だが、湯時時に泳がせでねらうと思わぬ数が出ることがある。

西河橋の上下はチャラ瀬で、左

「さあ、おまえの手本をうかがおう。

め。橋の上流にある「杉ヶ瀬淵」も、泳がせ派にはおすすめ。

続く。左岸寄りにある袋状の流れを中心にならうと、型が崩う。か

ナから上流はトロ瀬になつてゐるが、遙く寺は亘瀬に比し、是れの

が地方時に早瀬と呼び、貞型の

金網橋下流に岩盤の間を駆け上  
うに流れる荒瀬のポイントで、数  
段の袋状の流れになつてゐる。流  
心を引いたり、流れの際を泳がせ  
たりと多彩な技を繰り出すと釣果  
が伸びる。アユの型はよいボイン  
トだ。

ウインドバーク前は、「ダイワ  
鮎マスターズ」中部地区大会の本部前となる。

高水のときは早瀬、湛水するとチャラ瀬になる場所。全体的に釣

れるが、右岸の岸寄りが一級ポイントになる。下流にあるトロ漏はアユが溜まり、釣期も長い。

名皿部屋上流では、一隻の宮下酒舟から続くチャラ瀬が開いて、トロへと流れ込む辺りがよい。宮下酒舟から上流にかけては長い瀬が続い



この辺りは、多くの大会が行なわれるエリア。それだけよく釣れる場所でもある



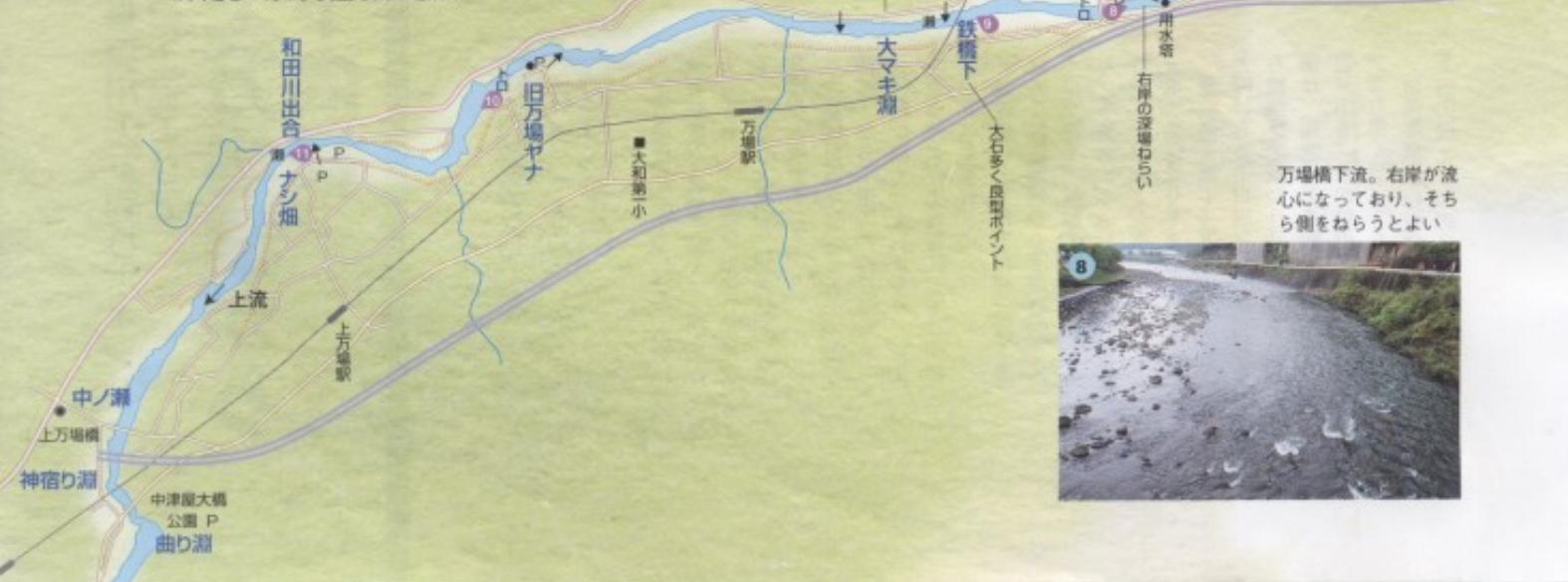
「旧万場ヤナ」のトロ  
へ続く落ち込み。水深  
のある場所を泳がせて  
ねらうとよい



「鉄橋下」の瀬は好ポイント。また鉄橋上のトロも見逃せない



地元で「ナシ畠」と呼ばれるこの辺りは穴場といえる。良型も出る場所だ





大島橋上流は変化に富んだ流れで、良型も望める



上万場橋上流は「神宿り淵」と呼ばれる。淵頭がおすすめ



奥美濃大橋のすぐ上有るトロ  
は、シーズンを問わず人気の釣  
り場

奥美濃大橋のすぐ上有るトロ  
は、シーズンを問わず人気の釣  
り場

この辺りまで  
解禁時より8月まで天然選上  
泳がせて釣りが出来る

越佐橋の上下はトロ場。橋下流  
にある越佐堰堤から下流は瀬と深  
い瀬が続く。解禁当初に実績があ  
り、下流の「ナガレ」付近には、  
昔は「ミツマドンボ」、「ツナサド  
ンボ」と呼ばれるよい淵があった。  
奥美濃大橋上流の「サイガワ」  
と呼ばれるトロ場は、解禁当初か  
ら終盤まで賑わう。橋から下流の  
瀬は、増水時引き釣りでねらうと  
数が出る。この付近までは、天然  
アユも多くソ上する。

白鳥高原駅付近には、向山橋、  
下向山橋と2つの吊り橋がある。

**初心者でも  
ポイントが  
絞りやすい**

上万場橋から下流には、両岸に  
流れが広がる瀬が続く。よい石が  
入っており、初期に数釣りができる  
。橋から上流の「神宿り淵」は、  
淵頭が一級ポイント。

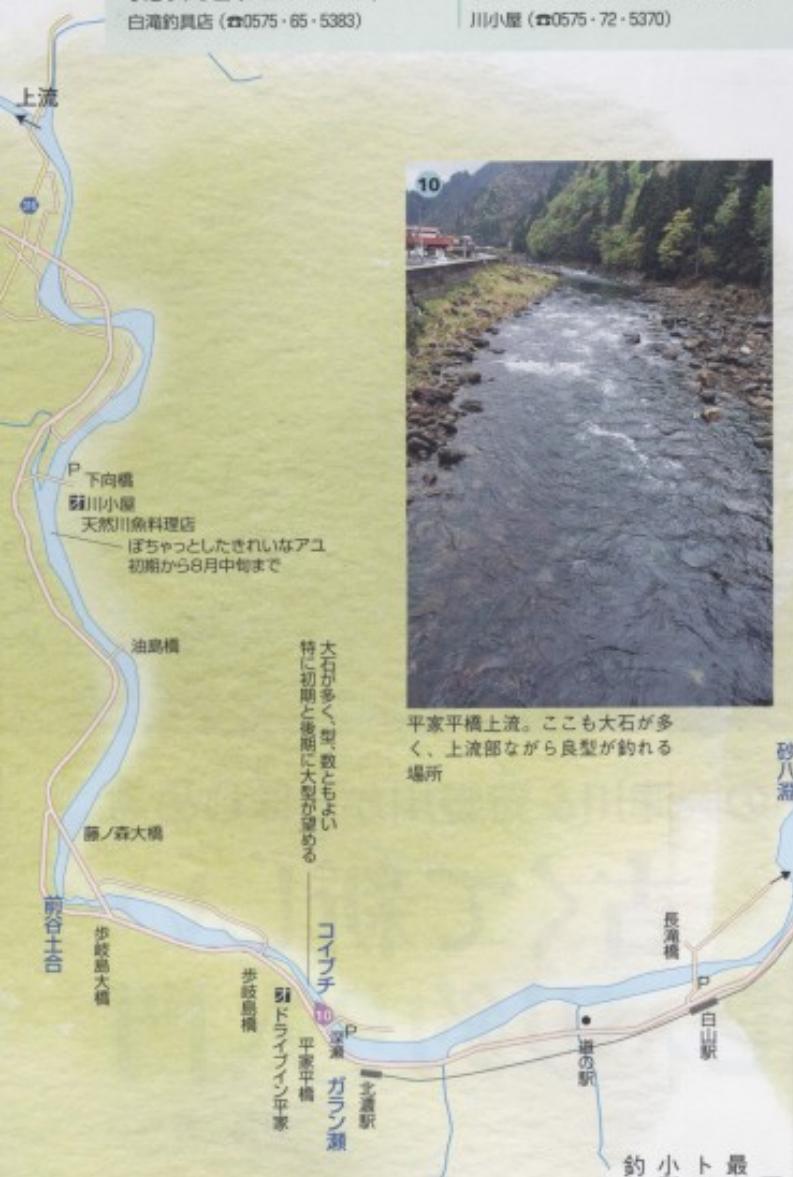
大島橋付近では、上流の「吊り  
橋跡」から下流の「曲り淵」まで  
長い瀬が続く。大石が多く、変化  
のある流れが上流部にしては型の  
よいアユを育む。

# 長良川の友釣りポイント 最上流エリア

## 上万場橋から 下向橋

## 主なオトリ店

- のどかの味込みやちか (0575・79・2160)  
 長谷部オトリ店 (0575・79・3367)  
 究商店 (0575・79・2053)  
 腹部商店 (0575・79・2453)  
 福手オトリ店 (0575・79・2034)  
 馬場オトリ店 (0575・79・2773)  
 村瀬オトリ店 (0575・79・2833)  
 太田屋 (0575・63・2672)  
 森下釣具店 (0575・65・4362)  
 清水釣具店 (0575・65・4740)  
 小池オトリ店 (0575・65・5485)  
 白瀧釣具店 (0575・65・5383)
- 森オトリ店 (0575・65・2955)  
 民宿 井上 (0575・65・4729)  
 直井オトリ店 (0575・88・2720)  
 旅館 清竜 (0575・88・2047)  
 フィッシング和合橋 (0575・88・4480)  
 森オトリ店 (0575・88・3236)  
 角間オトリ店 (0575・88・4034)  
 ふるさと食堂 (0575・82・4269)  
 鰐見 (0575・82・6906)  
 めだか釣具店 (0575・82・3281)  
 ドライブイン平家 (0575・85・2064)  
 川小屋 (0575・72・5370)



### Guide

- 施設導入 都上漁協 (0575・65・2562)
- 解禁日 6月8日
- 入漁料 白券 2000円、現場売り 4000円、年券 1万円 (要写真1枚)
- 交通 東海北陸自動車道とR156が長良川沿いを走っている。下流から美濃IC、都上八幡IC、岐阜やまとIC、白鳥ICを降りてR156を走り、各釣り場へ



下向橋のたもとにある「川小屋」(岐阜県郡上市高鷲町立 2558-1 / 0575・72・5370)では、川魚料理が味わえる。オトリも置いている



向山橋上流。付近は瀬が続き、石も大きい



下向山橋上流。大岩が続き、川幅も狭くなっている



大芝原橋上流は荒い瀬。大きめの石が点在し、ポイントは絞りやすい



この辺りまで来ると、川幅も比較的狭くなつて釣りやすい。瀬を中心とした川相で、石も大きく変化に富んだ流れが続く。飽きの来ない釣りができる場所だ。

長良橋の上下には、山間渓流を思わせる段々瀬が続く。ポイントが絞りやすいので、初心者におすすめのポイント。

平家平橋付近には小淵と瀬が連続する。石が大きく、上流部にしては良型が釣れる。高水で下流部が釣れないときは、釣り人が集中する。

下向橋付近は、長良川の中でも

最上流部に近いアユ釣りポイント。

解禁当初から8月中旬まで、

小型ながらボツチヤリしたアユが

が釣れる。

する。